♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 1/7

あのこはヘンナコ

ワダ アスカ/さく・え 東京:文芸社 2018



「シカのようなつの、ラクダのようなかお、ヘビのようなからだ、トラのようなあし」で、みんなからヘンナコと呼ばれ続けていた動物。でも、ある時コウモリを助けた事から、自分の能力に気づき、自信を取り戻していくお話。

ところで、ヘンナコって誰だろうね?

アリスのうさぎ

斉藤 洋/作 東京: 偕成社 2016

図書館の<児童読書相談コーナー>でアルバイトをしているわたしのもとには、なぜか、不思議な話が集まってくる。

連作短編で2話目以降は、不思議というよりホラーな感じですが そんなに怖くなくサラリと読めます。

ただ、図書館の仕事ってそんなに簡単なイメージなのかなぁ?と 思うのは図書館に勤めてるからでしょうか?



イカになあれ

真珠 まりこ/作 東京:講談社 2014



不思議な鏡の前にたって「イカになぁれ」というとイカに変身。

イカの国に入って海の中を泳いだり、キラキラ光ったりして楽しく遊ぼう。自分だったらどんなイカになるか想像するのも楽しく、生態も少しわかります。

イカのおうさまのゆる~いダジャレあり。

みんなも読んでみなイカ!

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 2/7

イライラくんとこえだちゃん

レモニー・スニケット/ぶん 東京: 評論社 2019



イライラくんがそばにやってくるとみんな不機嫌に こえだちゃんを拾った人はみんなごきげんに。 頭の上のイライラくんが次から次へと移っていくのが面白い。 あなたの周りにはイライラくんがいますか? こえだちゃんがいますか?

おいぼれミック

バリ・ライ/著 東京:あすなろ書房 2015

イングランドのレスターという町が舞台のおはなし。インド系移民で、シク教徒の一家が主人公ですが、その背景を想像しても「???」。となりに住むミック(どうやら人種差別主義者!)とどんな物語がまっているのやら…。こう書くととてつもなく長編が待っていそうですが、わずか100p余りで書ききるバリ・ライ氏はすごい。登場人物のルーツを読まないとうっかりイギリス人=白人で考えてしまう、固定観念の自分に反省しました。



おおきなかぶ

A. トルストイ/再話 東京:福音館書店 1999



おじいさんが植えたかぶのたねが、やがてあまい大きなかぶになり、かぶをぬくために、家族や動物たちみんなで力を合わせて、 うんとこしょ どっこいしょ のかけごえで、無事かぶをぬくことができたお話です。

一人では出来ないことも、周りの協力があれば達成でき、みん なが幸せな気持ちになれます。

私の子や孫にも大好評の絵本でした。

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 3/7

くいしんぼうのあおむしくん

槙 ひろし/作 東京:福音館書店 2000



表紙のほのぼのした絵からは想像もつかないストーリー。何でも 食べちゃうあおむしくん。えぇーっていう展開が待っています。 読み手によっては色んなことを考えさせられる味のある内容。子 どもだけでなく大人にも読んでほしい一冊です。

クジラのおなかからプラスチック

保坂 直紀/著 東京:旬報社 2018

私がおすすめする本は、環境問題の本です。

近頃、プラスチックのごみやマイクロプラスチックについての話をテレビや新聞などで見聞きすることが増えてきました。

私たちが普段、何気なく使っているプラスチック。このプラスチックが今世界中の海を漂っています。このまま、対策をとらずに行くと生態系に悪影響を与え、更には人間にまで影響を及ぼしかねない。そこで私たちにできることはごみを捨てない。そして、限りある資源を減少させないためにもリサイクルできるものは選別して有効に再利用していかなければなりません。



クローンドッグ

今西 乃子/作 東京:金の星社 2018



ホームページサイトのキャッチコピーは「あなたの大切なペットがそのままそっくり、再び同じ姿でたんじょうします!」

航(わたる)は愛犬 希(のぞみ)の死を受け入れることが出来 ず、クローンをつくることを決意する。はたして、その「命のコ ピー」の代償とは…

命の尊さ、価値。自分の判断により得るものと、失うもの。あら ためて考えさせられる作品です。

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 4/7

スマイリー 目の見えないセラピー犬

ジョアン・ジョージ/著 東京: 汐文社 2018



ゴールデンレトリバーのスマイリーは、生まれつき眼球がなく目が見えません。ジョアンが引き取り、家族とも仲良く暮らしているうち、スマイリーが「人をいやす」才能があることを見出し、セラピー犬として活動をさせます。色々な施設を訪問するうちに、逆境を克服したスマイリーの話は世界中に広まっていきます。この本には、笑っているように見えるスマイリーの写真がたくさんあり、見るだけでも心が癒されます。

だってだってのおばあさん

さの ようこ/作・絵 東京:フレーベル館 1980

99さいのお誕生日を迎えたおばあちゃん。

ひょんなことから5本のろうそくで祝ったのだが・・・。

この本を高齢者の前で読んでみたことがある。ドンピシャ!

あるおばあちゃんが「明日からおいは5歳になる!」と。人の気 持ちは考え方一つでどうにでもなるんだな。



続・時の迷路

香川 元太郎/作·絵 東京: PHP研究所 2009



迷路や探し絵はみんな大好き。この絵本は歴史が細かく丁寧に書き込まれていて、絵を見るだけでその時代が想像できます。意外と難しい隠し絵もあり、親子で会話も弾み一緒に楽しめます。大人の方がムキになるかも!?

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 5/7

トラのじゅうたんになりたかったトラ

ジェラルド・ローズ/文・絵 東京:岩波書店 2011



トラってこわいイメージの動物ですが、この本のトラはちがいます。年を取りやせ細った トラは王様の宮殿の毛皮のじゅうたんになりすまします。

じゅうたんだから、はたかれ引きおられこすられ洗われ干され、さんざんな目に。

それでもたえてひたすらじゅうたんを演じます。

残ったごちそうを食べ、少しづつふくよかに。まだバレてません!

そんなある日、王様をピンチから助けるのです。バレた!さいごはどうなるのでしょう…。 大げさですが、生きていくためにはいろんな試練があり、命がけですね。

ページをめくるたび、トラの表情に注目です。

おもしろいですよ。

ヒットラーのむすめ 新装版

ジャッキー・フレンチ/作 東京:鈴木出版 2018

一人の少女が作った物語「ヒットラーのむすめ」聞きながら、 もし自分の親が極悪人だったら、自分が殺人を犯したら、自分が 正しいと思ってることが間違っていたら、どうしたらいいの? と子供たちが真剣に考えていく話。

さくまゆみこ訳は面白いと再確認した。



ぶうぶうママ

小路 智子/作 神戸:BL出版 2018



「ぼく」が家に帰ると、ママの服を着て、ママみたいに出迎えてくれたのはブタでした。

読んですぐ、えっどういうこと?と興味をそそられ、読んでいく うちに、なるほどと納得させられ、最後には、あ・は・はと笑わ せてくれるような微笑ましい、その中に「ぼく」の成長も感じら れるお話です。

童話と絵本のグランプリ 大賞作品です。

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 6/7

ぼくはアフリカにすむキリンといいます

岩佐 めぐみ/作 東京: 偕成社 2001

皆さんはたいくつな時、何をしますか?

アフリカにすむ一頭のたいくつなキリンは、手紙を書きました。

"地平線のむこうでさいしょにあった動物"あてに。

手紙を受け取ったのはペンギン。お互い知らない動物同士。

手紙でどんな姿かたずねて想像し合います。その姿がおもしろい! ほのぼのした温かい物語です。

新しい友だちができる時のワクワクが味わえる、出会いの春にオススメの1冊です。



月へ アポロ11号のはるかなる旅

ブライアン・フロッカ/作 絵 東京: 偕成社 2012

1969年7月、初めて月に人間が降り立つ話ですが、

この絵本は私も一緒に月に連れていってくれました!

宇宙服を着込み、ロケットに乗込むと背中に感じる振動や轟音、

「もう後戻りはできない…」と思わせるカウントダウンの緊張感!

初めての宇宙空間を体験した(つもりの)後に見える月からの地球…。

「絵本としてはただの一冊だが私にとっては偉大な一冊だ」

ニール・アームストロングの言葉をもじらせていただきましたが、

大きな衝撃を受けた一冊でした。



七つの封印

カイ・マイヤー/原作 東京:ポプラ社 2003



ギーベルシュタインの町に住む少女・キラが友人のニールスと リーザ兄妹、クリスとともに行方不明のキラの母親や、七つの封 印について追っていく物語。魔法やファンタジーの物語が好きな 方には是非おすすめしたいシリーズです。

♪ぜんぶ図書館で読めるよ♪

2019 Spring 7/7

退屈をぶっとばせ!

Joshua Glenn/著 東京:オライリー・ジャパン 2018



- 10代のみなさんにぜったいオススメの本や映画、音楽などが
- 200以上掲載されており、戦いの掟や忍者の心得、多数のイタズラの仕方・・・

退屈な世界や大人に支配されない、意味のある人生を作るために 役立つ本です。

10代の心と体へのアドバイスが満載の一冊になっています。

二番目の悪者

林 木林/作 狛江:小さい書房 2014

金色のたてがみを持つライオンは、自分こそが王になる資格を持っている、と思っていた。しかし、王にふさわしい別の心優しいライオンがいる噂を聞いた金色のライオンは、何とかしなければとある行動にでる。

フェイクニュース、SNS社会の現代に通じるお話。中高生におすすめです。

